



議会だより

# でいすかす

110号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2022.2.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください

## 委員会だより

新庁舎建設に係る  
議会関連機能の意見集約へ  
総務・教育委員会

本委員会では重点活動テーマ（SDGsをまちづくりに生かす条例の制定）に加え、委員からの意見を調査・研究項目として進めています。

このたび、本庁舎建設に係る議場・関連諸室の在り方に関して、議長から本委員会に対し諮問があり、答申に向けた意見集約への活動およびその他の項目を含み、次のテーマに取り組んでいます。

### ●未来を見据えたまちづくり

①持続可能なまちづくり（SDGsをまちづくりに生かす条例）

②スマートシティ（ICTの推進状況）

### ●公共施設整備の在り方

①学校施設（活用方法・統廃合後の活用）

②本庁舎建設（議場・関連諸室の在り方）



▲議長からの諮問

### ●教育行政での懸案事項

①情報化の推進（GIGAスクール構想の状況）

②パソコン授業の拡充（子どもたちの健康影響）

（天神林）

健康なまちづくりに  
向けた取り組みを視察  
生活・福祉委員会

重点活動テーマである健康なまちづくりの推進に向けてをテーマに、東川町と留萌市を視察してきました。

東川町では、株式会社R・D・D（R・D・D）と地域活性化企業人交流プログラムによる協定を締結し、住民の健康サポート事業が開始され、内容は、トレーニング施設のオペレーションのほか、住民やジュニアアスリートへの指導を通じて、ライフパフォーマンスや競技成績の向上をサポートしています。

留萌市では、るもいコホートピア構想の取り組みとして、予防医学の観点から、地域の医療・健康・介護の課題を洗い出し、調査・研究を通じて実施メニューを提供していました。  
2市町の事業は、目的、ターゲットを明確にしたオリジナリティーのある事業でした。



▲留萌市を視察

先進的な事業内容を参考に、本市ではどのような事業が必要か、引き続き研究を続けてまいります。  
（宮武）

行政視察を終えて  
観光・経済委員会

本委員会では、本市が観光客への観光情報発信や市民との交流、アイ又関連情報の発信などを行う（仮称）登別市情報発信拠点施設（ヌプル）の整備を進めていることから、同じくアイ又関連情報の発信や地域コミュニティの場として開設した、洞爺湖町のアイ又民族共生拠点施設（ウトウラ）を視察してきました。

また、デジタルツールの普及により、個人がスマートフォンなどを使って旅行先を決める動きが広がる中、富良野市がSNSを活用する個人旅行者を対象に、地域の魅力や情報の発信、ホテルや各種チケットの予約、電子決済を行っている取り組み状況や、白老町の民族共生象徴空間（ウポポイ）の開設に伴う経済効果や波及効果、雇用状況などについても視察しました。



▲富良野市を視察

本委員会としては、これらの視察成果を政策提言に結び付けていきたいと考えています。  
（小栗）

# 令和3年第4回定例会 一般質問

[令和3年12月6日(月)～12月9日(木)]

## 議員11名が市政を問う



杉尾議員の  
一般質問  
中継はこちら

**市民要望への対応と  
今後の観光施策方針は**  
杉尾直樹

**質** 市内各連合町内会からの地域要望、  
単位町内会からの地区課題や要望の主  
な内容とその対応方法は。  
**答** 連合町内会からは、防災や不法投  
棄・河川管理・公共施設整備・道路整  
備など、単位町内会からは道路や排水、

公園等の整備、交通安全対策が主な内  
容である。  
各事業の所管に応じて現場確認し、  
国や道への要望書の提出や、市が行え  
る事案に対しては予算や緊急度合いを  
勘案し、対応する。  
**質** (仮称) 登別市情報発信拠点施設  
の設置目的や施設設備の概要は。  
**答** 道内各地の観光やアイヌ関連情報  
を発信し、登別・白老地域の周遊拠点  
の役割を担うことで、産業振興や利用  
者の交流によるにぎわい創出を図る。  
トイレや売店を併設し、売店では登  
別ブランド推奨品を販売し、駐車場に  
は都市間高速バスレーンを設ける。

**本市の温暖化対策の  
取り組みは**  
佐々木久美子



佐々木議員の  
一般質問  
中継はこちら

**質** 本市における主な再生可能エネ  
ルギーの導入事例は。  
**答** 登別温泉のホテルや旅館では、  
ヒートポンプや熱交換器により、源泉  
や温泉排湯から熱を取り出し、給湯や  
暖房、耐熱用の熱源として利用している。

**質** 町内会の防犯灯を省エネルギー型  
へと切り替えを進めているが、どの程  
度進んでいるか。  
**答** 全体の79%をLEDに切り替えた。  
**質** クリンクルセンターはペットボト  
ル以外のプラスチックを焼却している。  
市町村には、プラスチック使用製品  
廃棄物の分別や再商品化の努力義務が  
設けられたが、新施設建設の場合の処  
理方法の検討は。  
**答** 令和12年度以降におけるごみ処理  
施設の在り方の検討を進めており、二  
酸化炭素の排出を抑制するため、プラ  
スチック使用製品を焼却しない方法な  
どの検討を行っている。



千田議員の  
一般質問  
中継はこちら

**子どもや保護者の  
相談体制と居場所づくりは**  
千田文孝

**質** 不登校となつてからのくらの  
日数で、適応指導教室に通うことがで  
きるようになったのか。  
**答** 最短は1カ月、最長は9カ月で保  
護者と相談して登校日を決めている。  
**質** 適応指導教室の名称や設置場所は、

傷ついたり子どもたちへの配慮に欠け  
ていると思われるが、本市の考えは。  
**答** 別の名称としてスタディ広場とも  
言つが、学習を行う場所のイメージが  
あり、今後、親しみやすい名称への変  
更を検討する。  
設置場所の拡充は難しいものの、部  
屋自体の環境について生徒が気軽に入  
りやすくなるよう工夫していく。  
会派で視察した富山県射水市では、  
子ども条例を制定し、子どもを大切に  
する意思表示を行い、子どもの権利支  
援センターほっとスマイルという居場  
所、悩み相談体制を整備しています。  
子ども条例の制定を強く求めました。

そのほかの質問…ヤングケアラーについて

警別地域の鉄道横断  
立体交差の実現を  
小栗義朗



小栗議員の  
一般質問  
中継はこちら

現在、改定を進めている警別市都市計画マスタープランでは、警別地域の鉄道横断立体交差について検討するところがあるが、検討に至った経緯と、今後の取り組みは。  
答 平成15年のプラン策定時は交通渋

市役所本庁舎の移転に伴う  
関連事項の変更は  
若木康夫



若木議員の  
一般質問  
中継はこちら

新庁舎の耐用年数および現在分散している機能の集約化の考えは。  
答 鉄筋コンクリートであれば50年、現在分散している観光経済部、健康推進グループの集約を考えている。  
新庁舎への進入路の考えは。

滞緩和の観点であったが、現在は避難経路の確保としても位置付けており、室蘭地方総合開発期成会などを通じて北海道などへ要望活動を行っている。

住民の安全・安心の確保が最優先課題であり、地域住民からの強い要望もある中で、北海道などに対しては、実現性の高い働きかけが必要では。  
答 防災の観点からの必要性を認識しており、これまでも交通解析や渋滞状況の把握などを行ってきた。

今後は、人口データや避難時間といった既存データも活用し、また、工学的・理論的な観点での根拠構築を行うって要望活動に生かしていく。

進入路は来庁時の利便性から、2カ所にしたほうが良いと認識している。  
答 バス事業者には変更の可能性を伝えており、意見交換を始めている。

市役所窓口の在り方は。  
答 おくやみフレストップ窓口をはじめ、結婚、出産、育児、就学、就職など、さまざまな効率的な窓口の設置とバリアフリーの対応を検討している。

旧市役所跡地活用の考えは。  
答 まちのにぎわいの創出の観点から、民間事業者による利活用を検討する必要があると考えており、市内関係団体の意見を伺いながら進めていきたい。

そのほかの質問…改正地球温暖化対策推進法について

ハラスメント防止措置  
義務化の対応は  
田中寛志



田中議員の  
一般質問  
中継はこちら

本市のハラスメント相談件数と中途退職者数や、指定管理者でのハラスメント相談件数は。  
また、今後のハラスメント防止に向けた取り組みとして、指定管理者の就業規則の見直しについての考えは。

コロナ関連給付金の  
課題点と児童虐待の被害は  
工藤俱二雄



工藤議員の  
一般質問  
中継はこちら

新型コロナウイルス感染症に係る本市の経済対策の問題点と今後の課題について伺う。  
答 感染拡大により、日々変化する状況に応じ、限られた時間や財源でいかに対策を講じるかの制度設計に難しさ

本市のハラスメント相談件数は平成30年度以降において6件で、中途退職者数は直近の3年間で合計42名である。

また、指定管理者でのハラスメント相談件数は1団体であり、状況などを含め慎重に聞き取りを継続している。指定管理者の就業規則の見直しについては、令和4年4月1日より中小企業に対しても、パワーハラスメント防止措置が義務化されるため、国が示す職場における新しい制度が始まることを踏まえ、指定管理者に対し、本制度等を周知する中で、就業規則の見直しを促していく。

はがあるが、より効果を得られるよう経済情勢を捉えつつ、準備から実行まで速やかに対応していく。

児童虐待の対策と早期発見、市内の被害状況はどうなっているのか。  
答 児童虐待関係の被害状況は、市要保護児童対策地域協議会で受理した児童数が昨年度39人、本年度11月末で35人となっている。

本年度の内訳は、虐待などの要保護児童は6人、虐待リスクが伴う要支援児童は28人であり、こども相談室での専門職の配置や関係機関との連携の強化など、虐待予防策に取り組んでいる。

そのほかの質問…本市のDV・虐待・パワーハラスメントについて

## 市役所新庁舎と 中心市街地の今後は

伊藤 健太



伊藤議員の  
一般質問  
中継はこちら



**問** 市役所本庁舎は、これまで陸上競技場として使用されてきた高台へ移転し、新庁舎を建設することが示されました。新庁舎建設に係る基本方針や、中心市街地の今後について質問しました。

ず、市民が集いやすい複合的な機能を持ち合わせていくべきでは。

**答** 多くの市民が集まって活用し、憩いの場となる庁舎を目指すこととしている。どのような機能を持たせていくべきか、さまざまな観点で併設すべき施設の必要性を検討していく。

**問** 現庁舎跡地についても、多くの方々が交わり、にぎわいが創出できる複合的でごちゃ混ぜな施設として、市民との協働による検討が必要では。

**答** ごちゃ混ぜのまちづくりについても、可能性の一つとして参考とし、民間事業者の意見や提案などを受ける調査の実施などを検討していく。

そのほかの質問…新たなスポーツ参画の機会創出について

## 小・中学校や公共施設に 無料生理用品の配置を

渡辺 勉



渡辺議員の  
一般質問  
中継はこちら



**問** 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経済的理由で生理用品の入手が困難になるということが社会的問題になっていきます。調査によると生理用品の入手が困難な学生は、5人に1人を超える実態を重

視し、質問しました。

**答** 生理の貧困を重視し、生理用品の無償配布、学校等の公共施設のトイレへの設置に関する市の考えは。

**問** 学校で購入し、保健室にて希望する児童・生徒に無償で配布しているが、公共施設には配置していない。

**答** 生徒たちから希望を聞いて設置場所を決めるべきと思うが市の考えは。

**問** 他市町村の先行事例の効果を調べてみたい。

**答** 本市の取り組みについて高く評価するとともに、児童・生徒を中心に取り組む学校体制の構築と、公共施設への無料生理用品の配置を強く望みました。

そのほかの質問…高齢者にやさしいまちづくりについて

## カーボンニュートラルに 向けた取り組みは

二瓶 秀幸



二瓶議員の  
一般質問  
中継はこちら



**問** 国では、2050年までにカーボンニュートラルを目指すとしているが、本市の具体的な取り組みについて、登別温泉街のグリーンスローモビリティ実証運行の結果と今後の展開は。

ら28日間運行し、乗車は延べ2千100人、総走行距離は約千300キロメートルで、地域から本格導入を求める声が多く寄せられており、今後の本格運行に向け、財源や運行コースの検討を考える。

**答** 本庁舎建設に当たり、カーボンニュートラルに向けて環境に配慮し、道産木材を活用した木造建築の考えは。

**問** 地方公共団体の責務として、整備する公共建築物における木材の利用に努めなければならないと規定されているため、可能な限り多くの道産木材を利活用した庁舎の建設についても検討する。

**答** 高齢者のニーズの把握に努め、地域で共に支え合う仕組みづくりに取り組む。

**問** 重層的支援体制整備事業の取り組みの実施予定は。

**答** 本市においても今後実施する必要があるものと捉えている。

複合化した課題を抱える世帯に対する支援や、既存の制度による解決が困難な課題の解決にも取り組みが進められていることから、こうした事例を基礎としたさらなる検討を進めていく。

支援が届かない、一人でも多くの市民への支援実現のため、早急な取り組み実施を訴えました。

そのほかの質問…ごみの減量化に向けた取組について

## 追加補正予算に係る 本会議審査

[令和3年12月16日(木)]

追加議案となった令和3年度一般会計補正予算第11号は、緊急に措置を要する経費として、総務費の公共施設持続化・感染リスク対策経費420万円、民生費の福祉灯油事業費2千73万9千円、子育て世帯臨時特別給付金給付事業費3億1千995万4千円、その他の事業等を最終日の本会議審査として、質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決しました。

(二瓶)



## 予算・決算委員会

(令和3年度補正予算審査)

[令和3年12月14日(火)]

今期定例会において本委員会に付託された、令和3年度一般会計補正予算の1件のうち、歳出について各款ごとに質疑を行い、総務費については庁舎維持管理経費354万3千円に関する質疑があり、民生費、衛生費、消防費、教育費および歳入全般、繰越明許費ならびに債務負担行為については特に質疑なく、全会一致で原案のとおり可決しました。

なお、子育て世帯臨時特別給付金給付事業費3億2千174万6千円の補正予算については、対象者に早期に給付金が

行き渡るよう、可能な限り年内支給を目指して事務を進めたいとのことから、予算・決算委員会各会派代表者会議を本会議前に開催して協議し、本会議初日の審議を経て、全会一致で原案のとおり可決しました。

(二瓶)

詳しい質疑の内容を録画配信いただけます。スマートフォンをお持ちの方は、左の二次元バーコードからご覧下さい。



上：14日(火) 補正予算審査  
下：16日(木) 本会議審査(追加補正予算)

## 第14回議会フォーラムを 開催しました

14回目となる議会フォーラムを、2年ぶりに開催することができました。

準備期間中、緊急事態宣言などもあり、コロナ禍での開催手法の検討や、開催判断についても慎重な協議を重ね、感染予防の観点に配慮しながら、開催を前提とした準備を進めてきました。

今回は、従前の各常任委員会による活動テーマを中心とした意見交換ではなく、主題テーマをのびりべつの今後のゆくえ、副題を次世代に残したい登別の今後の未来を話そうと題し、6つのグループに分かれてワーキング形式での意見交換を行い、課題の共通認識を図りました。

開催日時についても、平日の夕方設定し、高校生や専門学校生にも多くご参加いただき、充実した世代間交流を行うことができました。

各グループで発表された課題は、今後の議会活動に生かしていきます。



▲グループでの意見交換の様子

(伊藤)

## 北海道登別育嶺高等学校 の学生が議会を視察

一年生の生徒の皆さんが3日間に分かれて議会見学に来られました。

今回は、生徒の皆さんにも協力いただいた一連のBSM316プロジェクト事業をテーマに、議事の模擬体験を行い、実際に市職員が事業報告したことに對して、なぜ海岸のごみ拾いを行ったのか、財源はどのように確保したのかなど、質疑をしながら、行政の仕組みについて理解を深めていただきました。

後半は、議員の仕事や役割、やりがいなどを説明し、さらに、請願権や選挙制度などの解説を通じて、地域の課題を身近に捉え、自ら考え行動していくことの大切さを伝えました。

生徒の皆さんからは、議長席に座れて楽しかった、自分たちだからこ見えるまちの課題を伝える方法があることを知れた、来年も高校生が市のイベントを手伝えるようにしてほしいなどの感想をいただきました。



▲議長による市議会の説明

(辻)

## 予算・決算委員会 (令和2年度各会計決算審査) [令和3年10月19日(火)~21日(木)]

### 委員長概要報告

令和2年度各会計決算の認定に係る予算・決算委員会は、10月19日から21日までの3日間で審査しました。

議案第63号令和2年度登別市一般会計歳入・歳出決算の認定について、歳入については特に質疑なく、歳出については各款ごとに質疑を行い、2会派の総括質疑終了後、全会一致で原案を認定することに決定しました。

議案第64号から67号の令和2年度登別市国民健康保険・学校給食事業・介護保険・カルルス温泉スキー場事業の各特別会計歳入・歳出決算の認定についてはそれぞれ質疑終了後、全会一致で原案を認定することに決定しました。

議案第68号令和2年度登別市後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算の認定については、特に質疑なく、全会一致で認定することに決定しました。

議案第69号から70号の令和2年度登別市水道事業・下水道事業会計の利益の処分および決算の認定、議案第71号令和2年度登別市簡易水道事業会計決算の認定については、それぞれ質疑終了後、全会一致で原案を可決および認定することに決定しました。

(二瓶)

### 市民・前進総括質疑

**質** 新型コロナウイルス感染症の影響による歳入の減少対応は。

**答** 当初予算のうち、市税への反映を検討し、入湯税は感染症の影響が生じ減少すると予想した。

地方交付税が1億1千800万円の増、各事業が新型コロナウイルス感染症拡大により、内容変更や中止などによって執行残が生じ、市税減収分の影響が緩和されたものとなった。

**質** これまでの経済対策を踏まえつつ、さらなる対策の考えは。

**答** 各種給付制度により市内事業者の事業継続や感染対策などを幅広く支援し、各種飲食券や建設券、クーポンやチケット発行事業などによる影響緩和を図ってきたが、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、より広く事業効果が得られるよう状況に応じ対応する。

**質** 令和4年度予算に向けて事業のスクラップ&ビルドの考えや進捗は。

**答** 現時点における評価では29事業が改善、46事業が統合、1事業が縮小、14事業が廃止の評価としている。既存事業を漫然と継続するのではなく、費用対効果や社会情勢を鑑み取り組む。

(千田)

### 市政クラブ21総括質疑

**質** 市役所本庁舎建設事業について何うが、庁舎整備基金の中期財政見通しにおいて示された、積み立て計画の詳細は。

**答** 庁舎整備基金の令和2年度末残高は同年度に5千99万3千円を積み立て、3億6千130万5千円となった。

中期財政見通しの資産では、市役所本庁舎建設事業が完了する令和8年度までの6年間で、約5億3千万円の積み立てを考慮しており、令和2年度末の残高を加えると、約9億円近く確保できる見込みとなった。

総事業費の見直しは、45億3千万円計上したが、緊急防災・減災事業債の活用により、市債の充当残(いわゆる頭金)と移転費用などの市債を充てられない経費の合計は約6億7千万円必要となる見込みとなった。

庁舎整備基金は事業完了時まで約9億円ほど確保できると試算したこと、一般財源を投入することなく事業実施の目途が立ったことから、今回令和8年度での事業完了のスケジュールを示し、市役所本庁舎の建設事業を進めていく。

(杉尾)

### 健康チャレンジの市民への対応は

天神林 美彦

**質** 生活習慣病の抑制と医療費の適正化に向けては、メニューの拡大に加えて、チャレンジした結果に対するインセンティブを意識した取り組みなど、工夫が必要と考えるが見解は。

**答** 現在、気軽に取り組める健康チャレンジウォーキングを中心に進めており、参加者には登別ブランド推奨品を抽選でプレゼントするなどのインセンティブを付与している。

今後においても、常に検証を行いながら、より効果的に進める。

### 高齢者介護施設の現状は

井野正臣

**質** 特別養護老人ホームの定員数は24床となっているが、入所待機者が定員数を超えている。

二丁に对应できているのか伺う。

**答** 入所待機者は市内3施設ともに定員を超えているが、複数の応募や将来に備え、現在必要性のない方の申し込みも多いのが実情である。

順番は先着ではなく、その方の介護度、家族の介護負担を優先し、外部委員による判定会議を経て、真にサービスを必要とする方に対応している。

## コロナ禍の学校給食センターの対応は

工藤 藤 俱二雄

**質** コロナ禍での学校給食センターの施設の消毒器具や設備の更新、職員の感染対策を伺う。

**答** 衛生管理を厳しくしていたため、消毒・手洗い等の対策はコロナ禍前から徹底していた。

マスクや消毒薬が不足になったが優先的に購入でき、補正予算により、下駄箱や作業着等の殺菌庫も更新された。職員の感染対策は、日々の健康管理や、感染拡大地域への外出を避けて、三密回避を守るなど徹底していた。

## 地元利用客増のサンライバスキー場を

宮武 祥子

**質** リフト収入増額の要因は。

**答** 積雪が多くコンディションが良かったことに加え、近場で野外アクティビティのニーズが高まった。

また、18歳以下のリフト料金を引き下げたことで利用しやすくなったことにより、地元の利用客が増え、\*手ぶらでいぶりの利用率が60%増加した。

**質** 昨年度同様の事業収入確保は

**答** \*スノードライブの無料貸し出しや、苫小牧からの日帰りバスプランを予定している。

## 減断水対策はいかに

成田 昭浩

**質** 先般、和歌山市で発生した水管橋崩落事故により住民が多大な被害を受けたが、この事故を受け、本市における水管橋の現状と点検状況や、事故への備えは。

**答** 本市は、複数の浄水場からさまざまな向きでバックアップされる管網を形成しているため、即時に大規模な減断水被害とはならない。

主要施設は毎月点検し、小規模水管橋や添架管などは、年1回職員が点検を行い、修繕や更新を行っている。

## ワーケーションを通じて移住促進へ

足立 知也

**質** ワーケーションに係る基礎的調査事業委託の内容や結果は。

**答** 先進事例調査として、全国の温泉地5カ所の概要、特徴などの取り組み内容を分析し、取り組んでいる企業ニーズとして、IT関連会社など7社の経営者にヒアリングを行った。

結果、テレワーク可能な職種の企業等においてニーズの高さがうかがえ、本市は産官学が連携した交流の場が提供できるため、研修・チームビルディング型が適していると提言を受けた。

## 生活交通路線の補助対象の現状は

佐々木 久美子

**質** 令和2年度の補助対象路線が、令和元年度より増加している要因は。

**答** 外出を控える動きがあったことと、運行経費の増加が要因と考える。

**質** 今後の補助対象路線増減について、市としてどのように考えているか。

**答** 新たに1路線が赤字路線になる見込みであり、令和3年度予算は7路線が補助対象路線となる。

**質** 補助対象路線増加の対策は。

**答** 交通網の構築や、交通手段の検討を行うしていきたい。

## 障がい者施策の充実と拡大を願う

杉尾 直樹

**質** 重度障害者福祉タクシー利用券交付対象者の障がいの内容、対象人数と交付数は。

**答** 障害者手帳1級または2級の所持者で、視覚・下肢・体幹・心臓や腎臓に障がいのある方、療育手帳A判定の方、精神障害保健福祉手帳1級の方など、対象人数はおよそ1千名となっております。交付申請手続き数は、対象人数の半数に当たる50名に交付している。

**質** 障がい者施策の事業拡大の考えは。

**答** 現状の認識はあるが変更はない。

## 歯科健診受診者をさらに増やすには

千田 文孝

**質** 後期高齢者歯科健診経費の決算額が減となった理由や、評価と対策は。

**答** 予算では受診者数400人を見込んだが、実績は201人で決算額が少なかった。室蘭歯科医師会との調整による6月からの事業開始や、新型コロナウイルス感染症の影響との認識である。

令和2年度の受診率は2.2%で、北海道全体の1%を上回っている状況ではあるが、今後も高齢者が集まる場に伺い、フレイル対策と結び付けて増加するよう努力する。

## 安全・安心な預かり保育の環境は

米田 登美子

**質** コロナ禍のファミリーサポートセンターにおける預かり保育の活動実態と、双方の感染症対応の基準や安全対策への考えについて。

**答** 保育所の休所により預かりがあったが、新型コロナウイルスの感染者や濃厚接触者への支援はなかった。

感染症対応の基準は、体調チェック、マスク着用などの徹底、保育スペースの除菌や消毒を依頼していた。

また、衛生に関する講習会の再開と、引き続き衛生用品の補助を求めました。

\*手ぶらでいぶり…胆振地域の居住者がスキー・スノーボードセットを特別料金で借りられる、サンライバスキー場のサービス。  
\*スノードライブ…スキー板に椅子とハンドルが取り付けられた雪山を滑走するための器具。

## 難病を抱える市民のサポートはいかに

田中寛志

**質** 本市では、難病を抱える市民のサポートとしてどのようなことを行っているのか伺う。

**答** 難病患者の方などの暮らしを支援するため、障害福祉・介護サービスがある。障害福祉サービスの利用相談は、障がい福祉グループや登別市総合相談支援センター<sup>エン</sup>で対応しており、介護サービスは、高齢・介護グループ、市内の地域包括支援センターで対応している。窓口にご相談がある際は、関係グループと連携して対応したい。

## エゾシカ対策の取り組み強化を

今野幹大

**質** 近年、市街地において増加しているエゾシカは、通学路にも出没し、子どもたちを巻き込む重大事故も懸念されつつある。

予算を増額した新たな取り組みとして、囲いなどの導入を検討してみたい。

**答** 現在は、銃器とくくりわなによる捕獲を行っているが、住宅地に近い地域では、銃器による捕獲が難しいため、囲いなどによる捕獲も有効と考えている。猟友会と協議し、費用対効果も含め、先進地への視察などを検討したい。

## 本市のゼロカーボンへの取り組みは

若木康夫

**質** 国が2050年までにカーボンニュートラル(脱炭素)を目指すことを宣言したが、これに対する本市の取り組みや方向性について。

**答** 現状、具体的な方向性は決まっていないが、それに資する取り組みの一つとして、再生可能エネルギーの普及促進が挙げられるものと認識している。また、今後は同一経済圏に位置する近隣自治体の状況なども情報収集しながら、脱炭素の取り組みの可能性を探って行きたいと考えている。

## 地域が空き家を活用する際に支援を

小栗義朗

**質** 空家対策事業では、補助金の活用が進んでいない。他自治体では町内会やNPO法人などが、地域活性化のために空き家を活用する場合、除却費用の一部を補助する制度を設けているが、本市の考えは。

**答** 町内会などが、地域の課題解決のため空き家を活用することは、空き家解消のほか、地域コミュニティの維持・活性化や生活環境の保全にも有効であると考えており、支援策として調査・研究していく。

## 登別ときめき大学の講座の検討は

伊藤健太

**質** 自動車運転者の高齢化による免許返納などの視点から、公共交通の利用方法が学べるような、新たな講座の開設も効果があると考えられるが見解は。

**答** 近隣自治体で行われたバスの乗り方教室は、分かりやすく、安心・便利な公共交通サービスの提供という目標に基づき、実施されているものと認識している。

次年度以降の講座については、運営委員会と協議をしていく中で、講座案の参考として検討していく。



決算審査 (左:10月19日 中央:10月20日 右:10月21日)

←詳しい質疑の内容を録画配信でご覧いただけます。スマートフォン等をお持ちの方は、左の二次元バーコードからご覧下さい。

## 令和3年第4回定例会における議案の賛否状況

第4回定例会で上程された議案はすべて可決され、否決された議案はありませんでした。

### 意見書2件・決議1件が可決されました。

意見書とは、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものであり、決議とは、意見書と同様に市議会の意思を決定し、対外的に表明するものであります。

第4回定例会では、次の意見書および決議を可決し、意見書2件を国会・政府へ提出しました。詳しい内容は、市議会ウェブサイトをご覧ください。

適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入中止を求める意見書
北海道農業の基幹作物てん菜の生産を守ることを求める意見書
登別市における自殺防止対策に関する決議

## 議会中継をスマートフォンなどで閲覧しませんか？

令和4年第1回定例会は2月16日(水)から開催される予定です。

本会議や各委員会は、スマートフォンやパソコンなどからでもご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ご来場による傍聴はできる限りお控えいただき、スマートフォンやパソコンから議会中継をご覧いただきますよう、ご協力をお願いします。